

計画事業番号	00632	事務事業名	橋梁長寿命化事業	担当部署	建設部土木事務所	電話	6102
--------	-------	-------	----------	------	----------	----	------

【基本情報】

事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		根拠法令等	社会資本整備重点計画法			
事務事業開始年度	平成25年度		個別計画等	橋梁長寿命化修繕計画			
〃 終了予定年度							
ソフト・ハード区分	ソフト事業	会計区分	一般会計	補助単独区分	補助	新規継続区分	継続

【事業概要】

1 総合計画体系	(第 5 章) 快適な生活環境のまち	
	(第 3 節) 道路の整備	
	(施策 1) 市内幹線道路・生活道路等の整備	
2 対象	管理橋梁 77橋	
3 目的と内容	橋梁長寿命化修繕計画に基づき、補修工事等を適期・適切に行うことで橋梁の長寿命化及び修繕費用の縮減を図り、道路網の安全性・信頼性を確保するため、補修工事を計画的に実施する。	
4 実施内容(手段)	28年度まで	平成26年度:橋梁補修設計1橋(白樺陸橋)及び橋梁補修工事1橋(松葉陸橋)を実施。37橋の橋梁点検を実施 平成27年度:橋梁補修設計1橋(中央陸橋)及び橋梁補修工事1橋(白樺陸橋)を実施。16橋の橋梁点検を実施 平成28年度:橋梁補修設計3橋(輪厚橋、開拓橋、大曲橋)及び橋梁補修工事(中央陸橋の北側)を実施。23橋の橋梁点検を実施
	29年度	昨年度と同様の事業であり、 橋梁補修工事 : 2橋 広葉陸橋、中央陸橋(昨年度より継続) 橋梁補修設計 : 1橋 大曲橋(札幌市負担金)

【事業の計画・実績】

平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
計画	実績	計画	計画	計画	計画	計画	計画
(補修設計) ・輪厚橋、開拓橋 (橋梁点検) ・32橋(近接目視) (補修工事) ・中央陸橋の北側	(補修設計) ・輪厚橋、開拓橋、大曲橋 (橋梁点検) ・23橋(近接目視) (補修工事) ・中央陸橋の北側	(補修工事) ・中央陸橋の南側、広葉陸橋 (橋梁補修設計) ・大曲橋(負担金)	(補修設計) ・天使歩道橋、北進橋、広葉橋、高台陸橋、広栄橋 (補修工事) ・輪厚橋、大曲橋、開拓橋(負担金) ・中央陸橋:JR部、橋梁点検 曲東橋、輪東橋	(補修設計) ・泉陸橋、泉2号陸橋、東栄橋外 計12橋 (橋梁点検) ・37橋(近接目視) (補修工事) ・北進橋、広葉橋、天使歩道橋、広栄橋			

【評価結果・評価コメント】

総合判定		平成30年度に向けた具体的な方向性		評価区分
前年度 2次評価	現状継続	現状継続とする。		
1次評価	現状継続	交通の安全の確保とその円滑化を図り、市民生活の安定と向上に寄与する。		
2次評価	現状継続	現状継続とする。		

「拡大」
「現状継続」
「要検討」
「見直し」
「統合」
「休止・廃止」
「終了」

【事業費の推移】

(単位:千円)

			平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
決算額、当初予算額又は推進計画額			69,638		129,584		371,027		275,627	
事業額	直接事業費	国支出金	41,028		77,400		222,300		165,060	
		道支出金	0		0		0		0	
		地方債	20,500		46,400		133,300		99,000	
		その他特財	0		0		0		0	
		一般財源	8,110		5,784		15,427		11,567	
		① 合計	69,638		129,584		371,027		275,627	
	人件費 (左側:一般、 右側:再任用)	② 人数(年間)	0.60	0.00	0.60	0.00	0.60	0.00	0.60	0.00
		③ 1人当り年間平均人件費	8,400	4,500	8,400	4,500	8,400	4,500	8,400	4,500
		④ =②×③	5,040	0	5,040	0	5,040	0	5,040	0
総事業費①+④			74,678		134,624		376,067		280,667	

【評価指標】

指標名			単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
活動指標	①橋梁補修設計数	目標値	橋	3	1	5	
		実績値		3			
	②橋梁点検数	目標値	橋	23	0	1	
		実績値		23			
③橋梁補修・架替工事数	目標値	橋	1	1	5		
	実績値		1				
④	目標値						
	実績値						
成果指標	①	目標値					
		実績値					
	②	目標値					
		実績値					
	③	目標値					
		実績値					

【評価項目】

チェック項目		評点	コメント
妥当性	・税金を使って行うこと(補助すること)が妥当ですか? ・上位の施策への貢献度は大きいですか? ・特定の団体の利益に偏っていませんか? 【評点欄】3妥当、2どちらかという妥当、1妥当でない 【コメント欄】理由を記入	3	橋梁長寿命化修繕計画に基づき、補修工事等を適期・適切に行うことにより橋梁の長寿命化並びに修繕費用の縮減を図る。道路網の安全性・信頼性を確保するものであり、事業の妥当性や有効性は確保されている。
達成度	・計画どおりに成果があがっていますか? 【評点欄】3あがっている、2どちらかといえばあがっている、1あがっていない 【コメント欄】理由を記入	2	橋梁の維持管理は、損傷が深刻化してから対策を行う従来の「事後保全」から、点検に基づき損傷が軽微な段階から対策を行う「予防保全」に転換することにより、大幅なコスト縮減が図られているが、更なる事業の拡大が必要である。
成果向上	・成果が現状よりも向上する可能性がありますか? 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】成果を向上させるための方策、代替策を記入	2	進捗率を上げるため、予算の増額が必要である。
経済性	・現在の成果を落とさずにコスト(予算・所要時間等)を削減するための方法はありませんか? 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】コストを削減するための方策、補助金の減額・削減について具体的に検討し、検討内容を具体的に記入	3	事業実施に当たっては、コスト縮減を念頭に設計を行い、関連事業とも調整を図りながら効率的な方法での事業を実施しており、更なるコスト縮減は困難である。

【法律で実施が義務付けられている事務事業か】	<input type="checkbox"/> 法律の義務付けあり	<input checked="" type="checkbox"/> 法律の義務付けなし
------------------------	------------------------------------	---

【民間活力の活用性評価】 (事業担当部局が評価)	<input type="checkbox"/> 民間等での実施または市民等との協働が可能である。 <input checked="" type="checkbox"/> 民間等での実施または市民等との協働の可能性はない。
-----------------------------	--